FUJIFILM **保証書**

製品名 nexia 30　ご購入年月日　年　月　日

お名前　様　TEL

ご住所

店名印

Printed in Indonesia　FGS-002111-Ci-01

製品保証規定

1. 保証の内容
   ご購入後1年以内に万一この製品が故障したときは、この保証書を添えてご購入店または弊社サービスステーションにお届けください。無料で修理いたします。
   なお、お届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。また、お買い上げ店と弊社間の運賃諸掛かりにつきましては、通常の輸送方法と異なる方法をとった場合(定期便以外を使用した場合)は一部ご負担いただく場合があります。
2. 次の場合は保証期間内でも上記1. の保証規定は適用されません(修理可能の場合は有料で修理をお引き受けします)。
   イ. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
   ロ. 保証書にご購入年月日、販売店名が記入されていない場合、または記載事項を訂正された場合。
   ハ. 富士フイルムサービスステーション以外で分解、修理されたもの。
   ニ. 火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
   ホ. お取扱上の不注意(使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛かり、砂・泥の付着、カメラ内部への水・砂・泥の入り込みなど)、保管上の不備(高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管)、お手入れの不備(かび発生など)により生じた故障。
   ヘ. 本体に付帯している付属品類(ストラップなど)および消耗品(電池類など)。
   ト. 前記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
   チ. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。
3. 本製品に対する保証は前記の範囲に限られます。本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸費用、撮影によって得るであろう利益の損失、精神的な損害など)の補償には応じかねます。
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

■ご注意
1. 本保証書は前記の保証規定により無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 本保証書の表示についてご不明の点は、使用説明書、カタログなどに記載されている弊社営業所やサービスステーションにお問い合わせください。

このようなときは…

■撮影中このようなときは…

このようなときは	ここをチェック	こうしてください
カートリッジが入らない。	●カートリッジの使用状態マークを確認してください。1の◯が白く表示されたカートリッジを使用していますか。	●1の◯が白く表示されたカートリッジを使用してください。
カートリッジを入れてカートリッジぶたを閉めたが、フィルムが進まない。	●シャッターボタンを押しましたか。	●シャッターボタンを押すとフィルムが1コマ目まで送られます。
シャッターが切れない。	①レンズカバーは完全に開いていますか。 ②フィルムを規定枚数撮り終わっていませんか。	①OPEN(電源ON)ボタンを再度押して、レンズカバーを完全に開いてください。 ②カートリッジを取り出して、未使用のカートリッジを入れてください。
フィルムが巻き上がらない。	●ストロボ発光OKランプが消灯していませんか。	●新しい電池に交換してください。
ストロボが光らない。	●ストロボ発光OKランプが点滅していましたか。	●ストロボ発光OKランプが点滅するまでお待ちください。点滅しない場合は、新しい電池に交換してください。
カートリッジぶたが開けられない。	●撮影途中のカートリッジを取り出そうとしていませんか。	●フィルムをすべて撮影してください。その後、モーターの回転が止まってからカートリッジを取り出してください。

■プリントがこのようなときは…

このようなときは	ここをチェック	こうしてください
画面がぼんやりしている。	①0.9mより近づいて撮影しませんでしたか。 ②レンズが汚れていませんか。 ③カメラのブレではありませんか。	①0.9m以上離れて撮影してください。 ②レンズをきれいにしてください。 ③カメラをしっかりと構え、シャッターボタンを静かに押してください。
画面が暗い。	①暗い場所のストロボ撮影で、被写体が遠すぎませんでしたか。 ②ストロボ撮影時にストロボ発光部に指が掛かっていませんでしたか。	①規定の撮影距離で撮影してください(フィルム感度によりストロボ撮影距離が異なります)。 ②ストロボ発光部に指を掛けないでください。

安全にご使用いただくために

- この製品および付属品は、写真撮影以外の目的に使用しないでください。
- 製品の安全性には十分配慮しておりますが、下記の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- この説明書はお読みになった後で、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警　告	⚠注　意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠警　告

絶対に分解しないでください。感電の恐れがあります。

落下などにより内部が露出したときは、絶対に触れないでください。高圧回路があり感電する恐れがあります。

カメラ(電池)が熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常を感じたときは、ただちに電池を取り出してください。発火ややけどの恐れがあります(電池を取り出す際、やけどには十分ご注意ください)。

ストロボを人の目に近づけて発光しないでください。一時的に視力に影響することがあります。特に乳幼児を撮影するときは気をつけてください。

カメラを水中に落としたり、内部に水または金属や異物などが入ったときは、ただちに電池を取り出してください。発熱・発火の恐れがあります。

引火性の高いガスが充満している場所や、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの近くでカメラを使用しないでください。爆発や発火・やけどの恐れがあります。

カメラは乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息する恐れがあります。

電池の分解、加熱、火中への投入、充電、ショートは絶対にしないでください。破裂の恐れがあります。

指定以外の電池を使わないでください。発熱・発火の恐れがあります。

電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤って飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだ場合には、ただちに医師の診察を受けてください。

⚠注　意

カメラをぬらしたり、ぬれた手で触ったりしないでください。感電の原因となることがあります。

自転車や自動車・列車などを運転している人に向けて、ストロボ発光撮影をしないでください。交通事故などの原因となることがあります。

電池の⊕⊖を誤って装てんしないようにご注意ください。電池の破裂、液もれにより、発火、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

このマークは、安全性、衛生、環境及び消費者保護に関するEU(欧州連合)の要求事項を、製品が満足していることを証明するものです。(CEとはヨーロッパ認定(Conformité Européenne)の略)

取扱上のお願い

1. カメラは精密機械ですから、水にぬらしたり、落としたりしてショックを与えないでください。
   ①海辺や小雨の中などで使用するときは、水が掛からないようにご注意ください。また、砂の掛かりやすいところには置かないでください。
   ②カメラケースに入っていても、落としたり、固いものにぶつけると故障の原因になります。また、振動が加わるところ(自動車のトランクなど)に放置しないでください。
2. 長時間お使いにならないときは、高温・多湿・有害ガス(タンスの中のナフタリン、しょうのう他)・ホコリなどの影響の少ない、風通しの良いところに保管してください。
3. 閉めきった自動車の中などに長時間放置しないでください。
4. 飛行機をご利用の際、未現像のフィルムやフィルムの入ったカメラは機内持ち込みされることをおすすめします。預け入れ荷物に入れた場合、X線検査でカブリなどの影響が出る場合があります。
5. レンズ、ファインダーなどが汚れたら、ブロアーブラシでホコリを払い、柔らかい布で軽くふきとってください。それでも取れないときは、富士フイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて、軽くふいてください。アルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。
6. このカメラの使用温度範囲は−10℃〜+40℃です。
7. 寒冷地では電池の性能が低下しますので、衣服の内側に入れるなどして、温めてからご使用ください。なお一時的に性能の低下した電池は、常温に戻れば性能が回復します。

主な仕様

項目	仕様
使用フィルム	IX240カートリッジフィルム
画面サイズ	16.7mm×30.2mm
プリントタイプ	C/H/P 切り替え式
レンズ	フジノンレンズ　2群2枚構成　f=23mm　1:8
ファインダー	逆ガリレオ式ファインダー　0.48倍　C/H/P マスク切り替え式
撮影距離	0.9m〜∞
シャッター	機械式シャッター(1/125秒固定)
露光調節	固定
フィルム装てん	ワンタッチドロップインローディング方式　セーフティロック機能付き 機械式誤装てん防止機能
フィルム給送	電動式　自動巻き上げ　自動巻き戻し
ストロボ	内蔵型ストロボ(常時発光)　充電時間:約6秒 ストロボ発光OKランプ　ストロボ発光停止 赤目軽減モード付き(シャッターボタン半押しでLEDによるプリ照射)
フィルムカウンター	順算式　フィルム走行表示兼用、巻き戻しに連動して復元
データ記録	光学式記録方式　各コマごとに記録　プリントタイプ
電源	単4形アルカリ乾電池　2本
その他	レンズカバー閉でシャッター安全ロックおよび充電安全ロック プッシュオープン式スライドバリア
大きさ・重さ	113.0mm×61.5mm×39.0mm(突起部除く)　125g(電池別)

*仕様・性能は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

アフターサービスについて

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。ご購入店または富士フイルムサービスステーションに直接お申し出ください。それ以外の責は、ご容赦いただきます。
なお、保証、使い方などのご不明の点につきましても、裏面記載のお近くの弊社営業所やサービスステーションをご利用ください。

●無料修理

故障した製品についてはご購入年月日、販売店名の記入された、ご購入日より1年以内の保証書が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲内で、無料修理させていただきます。
＊詳しくは、保証書に記載されている製品保証規定をご覧ください。

●有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、下記のような場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。
1. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
2. 保証書にご購入年月日、販売店名が記入されていない場合、または記載事項が訂正された場合。
3. 富士フイルムサービスステーション以外で分解、修理されたもの。
4. 火災、地震、風水害などの天災による損害、故障。
5. お取扱上の不注意(使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛かり、砂・泥の付着、カメラ内部への水・砂・泥の入り込みなど)、保管上の不備(高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管)、お手入れの不備(かび発生など)により生じた故障。
6. 前記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
7. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。

●修理不能

浸(冠)水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、お近くの富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。

●修理部品の保有期間

この製品の補修用部品は、5年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。
なお、部品保有期間終了後でも修理できる場合もありますので、詳しくはご購入店かお近くの富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。

●修理ご依頼に際してのご注意

1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. ご購入店や富士フイルムサービスステーションで、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。故障の状態によっては、事故となったフィルムなどを添えてくださると修理作業の参考になります。
3. 修理箇所のご指定がないときは、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理料金が高く見込まれる修理のときは「○○○○円以上は連絡してほしい」と金額をご指定ください。ご指定のないときは3,000円以内の料金で修理完了する場合は修理をすすめさせていただきます。
5. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
6. 修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱などに入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
7. 修理期間は故障内容により多少違いますが、厳重な調整検査を行いますので、普通修理品の場合は富士フイルムサービスステーションで、お預かりしてから通常7〜10日位をご予定ください。

●海外旅行中の故障

海外旅行中に故障した場合は、海外各地の富士フイルム海外支店または各国の富士フイルム代理店をご利用ください。富士フイルム海外支店、代理店の所在地一覧表はお近くの富士フイルムサービスステーションにおたずねください。なお、海外での修理は対応できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

FUJIFILM　富士写真フイルム株式会社

●本製品についてのお問い合わせは…

営業所	所在地	TEL
富士フイルム札幌営業所	〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館	TEL(011)241-7164
富士フイルム仙台営業所	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル	TEL(022)265-2121
富士フイルム東京販売部	〒106-8620 東京都港区西麻布2-26-30	TEL(03)3406-2387
富士フイルム名古屋営業所	〒460-0008 名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル	TEL(052)203-5262
富士フイルム大阪支社	〒541-0051 大阪市中央区備後町3-5-11	TEL(06)6205-6421
富士フイルム広島営業所	〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター	TEL(082)256-3311
富士フイルム福岡営業所	〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1	TEL(092)281-0232

●修理の受付は…

受付	所在地	TEL
札　幌:富士フイルムサービスステーション	〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館	TEL(011)222-3973
仙　台:富士フイルムサービスステーション	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル	TEL(022)265-2149
東　京:富士フイルムサービスステーション	〒105-0022 東京都港区海岸1-9-15 竹芝ビル	TEL(03)3436-1315
富士フォトサロン・東京	〒104-0061 東京都中央区銀座5-1 銀座ファイブ	TEL(03)3571-9411
新　潟:富士フイルムサービスステーション	〒951-8067 新潟市本町通7番町1153 本町通ビル	TEL(025)223-7731
金　沢:富士フイルムサービスステーション	〒920-0864 金沢市高岡町1-39 住友生命金沢高岡町ビル	TEL(076)263-3466
静　岡:富士フイルムサービスステーション	〒420-0859 静岡市栄町1-5 殖産ビル	TEL(054)255-2465
名古屋:富士フイルムサービスステーション	〒460-0008 名古屋市中区栄1-12-19	TEL(052)202-1851
大　阪:富士フイルムサービスステーション	〒541-0051 大阪市中央区備後町3-2-8 大阪長谷ビル	TEL(06)6260-0915
富士フォトサロン・大阪	〒530-0001 大阪市北区梅田1-9-20 大阪マルビル	TEL(06)6346-0222
高　松:富士フイルムサービスステーション	〒760-0015 高松市紫雲町3-1 香西第2マンション	TEL(087)834-8355
広　島:富士フイルムサービスステーション	〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター	TEL(082)256-3511
福　岡:富士フイルムサービスステーション	〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1	TEL(092)281-4863
鹿児島:富士フイルムサービスステーション	〒892-0838 鹿児島市新屋敷町16 公社ビル	TEL(099)226-2515

※土曜、日曜、祝日、年末年始は休業させていただきます。その他夏期等休業させていただく場合があります。
●東京:富士フイルムサービスステーションは、通常の土曜日(祝日、年末年始、夏期休暇以外)は営業しております。ただし、受け渡し業務のみとなります。
●富士フォトサロン・東京、大阪は受け渡し業務のみです。

●富士フイルム製品のお問い合わせは…
お客様コミュニケーションセンター(月曜日〜金曜日　午前9:30〜午後5:00) TEL(03)3406-2981

各部の名称

■この使用説明書の表記について
☞：参考になる情報などの記載
＊：注意などの記載

1. ストラップを取り付けます

ストラップ取り付け部にストラップを通し、取り付けます。

市販のストラップをご使用になる場合は、ストラップの強度をご確認の上、ご使用ください。携帯電話、PHS用ストラップは軽量機器用ですので、ご使用の際は特にご注意ください。

2. 電池を入れます

■使用する電池
★単4形アルカリ乾電池　2本
❶電池ぶたを開けます。
❷表示に従って、電池を入れます。
❸電池ぶたを閉めます。

＊電池ぶたに無理な力を加えないでください。
＊必ず2本とも新しい、同じ銘柄・種類のものを使用してください。
＊Ni-Cd電池は使用しないでください。
＊アルカリ乾電池では約170コマ撮影できます（当社試験条件による）。
＊旅行や、たくさん写真を撮られるときは、万一の場合に備えて予備の電池をご用意ください。特に海外では地域によっては電池の入手が困難な場合があります。
＊気温が低いときには、電池の性能が低下します。電池をポケットの中などで温めてからお使いください。
＊ストロボ発光OKランプが点滅するまでに20秒以上かかる場合は、電池を交換してください。

3. 電源ON

OPEN（電源ON）ボタンを押して電源を入れます。
☞ストロボ発光OKランプが起き上がります。

＊カートリッジが入っていない場合はストロボは充電されません。
＊カートリッジが入っていても、フィルムカウンターが"S"の場合はストロボは充電されません。

4. 電源OFF

CLOSE（電源OFF）レバーをスライドさせると電源が切れます。
☞ストロボ発光OKランプが収納されます。

電源ONのまま放置すると、電池が消耗します。撮影しないときは必ず電源を切ってください。

5. カートリッジフィルムを入れます

APSでは
IX240カートリッジフィルム（以後カートリッジ）を使用します。

カートリッジに1の○が白く表示されていることを確認してください。◗⊠▯が白くなっているカートリッジでは撮影できません（機械式誤装てん防止機能）。

1
フィルムカウンターに"S"が表示されていることを確認します。

＊"S"が表示されていないときはカートリッジが入っています。

2
❶カートリッジぶた開放レバーをスライドします。
❷カートリッジぶたを開きます。

＊撮影途中のカートリッジが装てんされている場合、カートリッジぶたを開放できません（セーフティロック機能）。
＊カートリッジぶたに無理な力を加えないでください。

3
❶カートリッジを落とし込みます。
❷カートリッジぶたを閉めます。

＊フィルム感度によりストロボ撮影距離が異なります。

フィルム感度を記録することをおすすめします。

4
電源を入れ、シャッターボタンを押します。
☞フィルムが自動的に送られ、フィルムカウンターが"1"になります。

新しいカートリッジを入れた後、この操作を必ず行ってください。

6. プリントタイプの切り替え

APSでは
3つのプリントタイプ（C／H／P）を切り替えることができます。

プリントタイプ切り替えつまみで、プリントタイプを切り替えます。

プリントタイプを切り替えると撮影範囲フレームが切り替わります。

Cタイプ 約16mm×23mm　Hタイプ 約16mm×28mm　Pタイプ 約10mm×28mm

プリントタイプが撮影ごとにフィルムに記録され、上図範囲がプリントされます。また、どのプリントタイプで撮影してもフィルムに写るサイズは一定（16.7mm×30.2mm）のため、焼き増し時にプリントタイプを変更することができます。

Cタイプ（2：3）　Hタイプ（9：16）　Pタイプ（1：3）

＊（　）内は縦横比です。

7. さあいよいよ撮影です

1
電源を入れ両脇を締め、カメラを両手でしっかり構えます。
☞縦位置撮影ではストロボ発光部が上にくるように構えます。

＊レンズやストロボ発光部に、指やストラップが掛からないようにしてください。

2
ストロボ発光OKランプが点滅していることを確認します。

＊ストロボ充電時間は約6秒です。
＊ストロボ発光OKランプが点滅するまでに20秒以上かかる場合は、電池を交換してください。

3
ファインダー内の○が画面中央に見えるように真正面からファインダーをのぞき、構図を決めます。
＊撮影できる距離は、0.9m〜∞です。
＊フィルム感度によりストロボ撮影距離が異なります。

ファインダー内の○が中央からズレたり欠けていると、見える範囲と写る範囲にズレが生じます。

4
シャッターを切ります。
☞ストロボが発光し、フィルムが次のコマまで送られます。
☞フィルムカウンターの数字が1つ進みます。

■ストロボ撮影距離
フィルム感度によりストロボ撮影距離が異なります。暗いところでは、ストロボ光が届く範囲で撮影してください。

フィルム感度	ストロボ撮影距離
ISO 100	0.9m ～ 2.0m
ISO 200	0.9m ～ 3.0m
ISO 400	0.9m ～ 4.0m
ISO 800	1.3m ～ 6.0m

（カラーネガフィルム使用時）

大切な撮影（結婚式や海外旅行、業務用途など）の前には試し撮りをして、カメラが正常に機能することを確認してください。

8. ストロボ発光停止

ストロボ発光OKランプを押し下げたまま、撮影してください。

＊ストロボ発光OKランプを完全に押し下げないと、ストロボが発光することがあります。

9. 赤目軽減撮影

❶約1秒間シャッターボタンを半押しします。
☞赤目軽減ランプが点灯します。
❷その後、シャッターを切ります。

◆赤目現象について◆
人物を暗いところでストロボ撮影した場合、目が赤く写ることがあります。これは、ストロボの光が目の中で反射することにより起こる現象です。赤目を起こりにくくするためには、赤目軽減撮影をすると共に、
●撮られる人にカメラの方に視線を向けてもらう
●なるべく近づいて撮影する
などするとより効果的です。

10. カートリッジを取り出します

1 最後の1コマを撮り終わると、フィルムが自動的に巻き戻されます。

＊撮影途中でカートリッジを取り出すことはできません。
＊途中でカートリッジを取り出すには、ストロボ発光OKランプを押し下げてレンズ部を手で覆いながら、フィルムが終わるまでシャッターを切ります。

必ずモーターが止まったことを確認してください。モーターが止まる前にカートリッジぶたを開けようとすると、カメラが故障したり、フィルムが感光する恐れがあります。

2
❶カートリッジぶた開放レバーをスライドします。
❷カートリッジぶたを開きます。
❸カートリッジを取り出します。
☞カートリッジに3の⊠（撮影済み）が白く表示されます。

＊カートリッジぶたに無理な力を加えないでください。

カートリッジを取り出さず、そのままカートリッジぶたを閉めないでください。二重露光となる恐れがあります。